



社員・シャインな職場訪問記⑤1



今年創立60周年を迎え、道路やトンネル、下水道・ガスなど重要な社会インフラ設備の土木工事や、教育施設やオフィスビル、工場・倉庫といった建築工事で豊富な実績を誇る中和コンストラクション様。令和3年度「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」の若年者雇用推進部門で表彰されました。その取り組み内容や意義などについて、大浦晃平社長と田中祥子主任にお話を伺いました。



株式会社中和コンストラクション

事業内容：土木工事および建設工事の請負、
企画設計管理業など

所在地：桜井市大字桜井281-7 中和HDビル
TEL：0744-42-93130
URL：<https://www.chuwa-hdg.jp/>

人材確保を最重要課題とし 自社独自のインターンシップを導入

当社では、会社が目指す方向性に合わせて従業員に活躍してもらいたいため、基本的に新卒採用を重視してきました。リーマンショックの際には、建設業界全体で採用を控える傾向がありましたが、企業の持続的発展を考えると人材の確保は最重要課題であり、経済が復調し始めた2014年から毎年、自社独自のインターンシップを実施しています。

かつてのように大学などに求人票を送ればすぐに応募してくれる時代でなくなりました。また入社してから「考えていたイメージと違う」といった理由での退職を避けるためにも、まずは会社や仕事内容をよく理解してもらうことを狙い、インターンシップをスタートさせました。そのため、カリキュラムにもさまざまな工夫をしています。

若手社員を対象とした勉強会も発足 入社1年未満での離職率の低下に

まず自社独自のインターンシップのカリキュラムは、学生たちが参加しやすいように一人ひとりの事情に合わせたオーダーメイドで、半日から最長2週間までに対応しています。

夏休みに受け入れることが多いですが、建設業の一番厳しい夏の現場を体験してもらうことで、入社後のギャップの解消につながっています。また、希望する職種と違ったということにならないよう、当社のような地域密着型の地場ゼネコンの事業内容や役割もしっかり理解してもらっており、こうした取り組みにより2014年以降に入社した社員の1年未満での離職率は大きく下がっています。

今年5月には、所属長の理解も得て、入社3年目までの社員を対象とした「若手会」を発足させ、月2回、技術や法令の勉強や情報交換を行っています。これは若手社員の思いを引き出して所属長に伝達する媒介の役割も果たしています。

県内企業合同インターンシップで 「奈良で働く魅力」のアピールも

当社の採用活動とは別に、奈良県の産業界全体の活性化を図りたいと、当社が発起者の一社となって2019年から奈良県内企業の合同インターンシップも実施しています。奈良は住宅地や観光地という認識が強く、就職先として奈良の企業を選択する学生たちが少ないことを危惧し、参加企業が一体となって「奈良で働く魅力」をアピールしています。就職活動にすぐに役立つ「自己PR作成&人事面接体験」も行っており、各大学から高評価をいただいています。

終身雇用の時代でなくなったと言われてますが、当社は健康で「終身」活躍してもらいたいと考え、健康増進のための福利厚生も充実させていく予定です。65歳の定年以降も雇用を継続しており、現在の最年長は72歳です。若手社員たちも、今後勤続10年、20年と活躍してもらえることを期待しています。

